

2017年3月5日 主日礼拝 (聖餐式・誕生祝福式)

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌522番「地のちりにひとしかり」

(主の山に備えあり)(み前に行き)

ヤベツの祈り

聖 書 ①マタイによる福音書 6章9～15節(p.8)

②マルコによる福音書 10章46～52節(p.69)

音 楽 池田宏里兄

証 詞 ①松谷広美姉(ハンナ会)

メッセージ ①「みこころを知る・シリーズ1」 倉知契副牧師

②「喜べ！主が呼んでおられる」

大川従道牧師

賛 美 「大波のように」(献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

聖餐式

(箴言二十の九・LXX)

「神は喜んでゐる人と、与へる人を祝福される。」

【町田ニュース】

- ・ 先週は薬師池公園ピクニック(大人16人、小人5人参加)と「ほっとママの会」(大人11名)が、祝福されました。
- ・ 先月の[国際飢餓対策への募金](#)は4,306円、[九州キリスト支援センター](#)へ、7,659円捧げられました。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！(Y)。水曜夜、木曜朝は坪井副牧師、金曜は梅津補教師が説教。
- ・ 木曜日10時「[幸せの集まり](#)」が牧師館でなされます。
- ・ 土曜日、「[祈り会](#)」は4時30分～5時15分に行きます。
- ・ 今年の「[夏のファミリーキャンプ](#)」は、7月16(日)～17日(祝・海の日)、新しい場所・愛川ふれあいの村でなされます。期待しましょう。
- ・ 聖務表(聖書通読表)に従って聖書を読みましょう。



畑の中の宝物

教会に通っている統合失調症を持つ青年から相談がありました。「教会員に『みんなから愛されている感じがしない』と言ったら、教会内で大問題になった」というのです。「あんなに一生懸命みんなで受け入れてあげたのに」と多くの会員から反発され、牧師さんからも叱られたとのこと。この手のトラブルは、統合失調症などの精神障害を持つ人が教会内で経験するもっとも典型的なものです。それでは、このトラブルの背景には何があるのでしょうか？

以上の文章は書物「精神障害と教会」(向谷地生良著、いのちのことば出版)からの引用ですが、この本を読みながら、あああるあると思ったり、なるほどと思ったり、今まで考えてきたことが間違ってたんだなと確認できたり・とても有意義な本でした。

現在、国民の35人にがなんらかの精神的な不調を抱えて精神科を受診していると言われていています。それを、人間の一生という時間軸で考えると実に5人に1人が精神科のお世話になると言われます。にもかかわらず、なぜ社会はいわゆる「精神障害」を特別視し、そのような体験を持った人たちを排除しようとするのでしょうか。(略)

大切なのは、教会は誰にとっても開かれた場であり、多くの当事者はそれを知っていて教会を信頼しているということです。そして、彼らは誰よりも生きる意味を探し求めている人たちだということです。もちろん、教会の中に起きている困難な現実、社会的な支援体制の弱さのしわ寄せといえなくもありません。だからこそ、その課題を教会自身が担えるようになることが重要なのではないのでしょうか。

そして、北海道の浦河教会でなされているのが「当事者研究」。これは、「当事者たちが問題を持寄り、その出来事に内包された意味やパターンを考え、自由に対応策を練り、試みる」ということを繰り返すアプローチ法で、それが功を奏し、また広げられているそうです。参考になる本です。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: マルコ10章～13章 Bコース: 民数記34章～申命記16書